



令和5年度 年度末号

# 朝七小だより

朝霞市立朝霞第七小学校  
〒351-0036 朝霞市北原2-6-1  
TEL 048-472-9172 FAX 048-476-1327  
E-mail 7shou@asaka-c.ed.jp

学校教育目標 『心豊かにたくましく生きる児童の育成』 ○考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子  
目指す学校像 一人一人の良さを伸ばし、未来に向かって学び合い、高め合う学校

## 「未来に向かって」

校長 鈴木 康之



【一年間お世話になった読み聞かせの時間】



【練習の成果を披露した6年生音楽発表】



【みんなで縄跳びをした朝運動の時間】



【工夫して楽しんだ縦割り交流会】

（新たな学校連絡システム導入を踏まえて、スマートフォンでの画面表示を考慮して、紙面を二段組に変更しています。）

校庭のモクレンに白い花が咲き、暖かな日差しに春の訪れを感じるようになりました。年度末を迎え、卒業式、修了式が目前となりました。児童には、安全で充実した春休みを過ごして、次年度の歩みにつなげていってほしいと思います。

過日お知らせしましたが、学校からご家庭への連絡の際に、これまでラインズeライブラリ連絡メール2により、メール配信してまいりました。また、お子様の欠席や遅刻等のご家庭からの連絡をMicrosoft Formsにより受けてまいりました。令和6年度からシステムを変更し、tetoru(テトル)により学校からの連絡を通知し、ご家庭からの欠席連絡を受けるようにいたします。この変更により、紙媒体のプリント等をPDFファイルとして学校からアプリ通知することができ、保護者の皆様にはインターネット環境があれば、様々な端末によりいつでも、どこでも学校からの連絡を確認いただくことが可能となります。この度の変更に際しまして、保護者の皆様には、アプリの新規導入やシステムへの情報登録などお手数をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

さて、県学力・学習状況調査結果の県全体の報告書が先月から県教委ホームページで公表されています。この調査は一人一人の伸びに着目し、成果と課題を明らかにして次年度につなげていくというねらいがあります。本報告書では、調査結果の概要として、県全体の学力の伸びの状況、調査結果の活用や特徴的な取組の紹介、学習指導のポイントや質問調査結果から見られる傾向などが記されています。今年度のまとめからは、「自己効力感（自分がそれを実行できるという期待や自信のこと）を伸ばしている児童は、学力も伸ばしていることや学習方略（学習効果を高めるために意図的に行う学習方法や態度）・他の非認

知能力（自制心、勤勉性、やりぬく力、向社会性など）も伸ばしていること」が改めて確認されています。また、「自分にはよいところがあると思う児童は、難しいことでも失敗をおそれずに挑戦していますか」という質問に肯定的に回答をしており、学力を伸ばしている傾向が見られています。ここで、気になるのは、学年が上がるにつれて自分にはよいところがあることと肯定的に回答する児童生徒は少しずつ減少しているという結果です。学年が上がっていき、できることが新たに増えていたり、継続したりしていることを認めて、フィードバックすることが大切と捉えています。読書量と学力の関係では、「1か月に読む本の冊数の増化に伴い、学力の高い児童の割合も増える傾向」が見られています。読書により、語彙力が養われ、思いや気持ちを理解する力に結び付いていると考えられます。一方で、読む本の質と量のバランスが大切であるとの結果分析もされているところが留意すべき点となっています。その他、ゲームや携帯電話の約束と学力の関係では、「テレビゲーム（コンピュータゲーム）をしたり、携帯電話（スマートフォン）を使ったりすることについて、家の人と約束を決めていますか」という質問に対して、約束を決めていると回答した児童の学力は、どの学年、教科においても平均的に高い傾向があります。学校から持ち帰るタブレット端末も含めて使用のルールについて、きめ細やかな支援が大切であると捉えています。次年度も県学力・学習状況調査を実施しますが、児童の学びの状況を詳細に把握し、授業の工夫・改善や児童一人一人の学力向上につなげたいと考えています。

いよいよ明日、115名の6年生が学び舎を巣立っていきます。来週には、607名の1～5年生が修了の日を迎えます。一人一人の子どもたちが、今年度、できるようになったこと、分かるようになったことを自信として、未来に向かって前進してほしいと願っています。一年間、本校教育活動へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。